

授業科目

福祉用具学II (コミュニケーション機器)

担当教員名 須田 裕紀、前田 雄、林 豊彦	対象学年	2	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		

授業の概要

言語機能障害、聴覚障害、視覚障害といった他者とのコミュニケーションに必要な機能の障害に起因する能力障害であるコミュニケーション障害とコミュニケーション機器について学ぶ。

授業の目的

様々なコミュニケーション機器の特徴と機能を理解し、適応となる疾患に対するコミュニケーション機器の適応について学ぶ。

学習目標

1. 本科目の概要及び成績に関する評価方法を理解している。
2. リハビリテーションにおけるコミュニケーション障害について説明できる。
3. リハビリテーション工学におけるコミュニケーションの概念について説明できる。
4. リハビリテーション工学におけるコミュニケーション機器と環境制御装置について説明できる。
5. コミュニケーション機器と装具の関わりについて説明できる。
6. コミュニケーション障害別にみたコミュニケーション機器の選択方法について説明できる。
7. コミュニケーション機器と自助具の関連性について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス, 福祉用具学IIの概要	講義	須田 裕紀
2	コミュニケーション障害	講義	前田 雄
3	リハビリテーション工学におけるコミュニケーションの概念	講義	林 豊彦
4	コミュニケーション能力開発	講義	林 豊彦
5	コミュニケーション機器における電子回路の基礎	講義	林 豊彦
6	関連装具学	講義	須田 裕紀
7	コミュニケーション機器の選択	講義	林 豊彦
8	自助具	講義	前田 雄

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	福祉情報技術コーディネーター 人手試験テキスト	e-AT利用促進協会	財団法人 全日本情報学習振興協会		2,096円+税	
参考書						
その他の資料	講義内容に応じて、適宜プリントを配布					

評価方法

最終試験100%

履修上の留意点

本科目と併行して実施される福祉用具演習IIは非常勤講師による講義となるため、開講日に注意すること。

オフィスアワー・連絡先

連絡先

suda@nuhw.ac.jp
yu-maeda@nuhw.ac.jp